

- ▶ 日本語に興味津々! ひらがな と カタカナ (その1)
- ▶ IT導入補助金(三次公募) いよいよ最終!!
- ▶ フォント あ・ら・かると: 「Citrine」
- ▶ DTP人生相談室: InDesignの環境設定「欧文辞書」について
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本文: カクミン (R)
- 見出し: 秀英にじみ丸ゴシック (B)



www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

日本語に興味津々! ひらがな と カタカナ (その1)

2020年は、「ひらがな制定120年」と言われています。これは明治33年に公布された『小学校令』による仮名の統一を起点としたものですが、この機会に改めて日本語、特に仮名の成り立ちについて辿ってみました。

本記事は、「我楽多頓陳館」(www.snap-tck.com/)のご協力により掲載しています。

● 仮名のはじまり

カタカナ(片仮名)とひらがな(平仮名)はどちらも平安時代初期につくられた音節常用文字で、カタカナは漢字の一部を取ってつくられ、ひらがなは漢字の草書体からつくられたというのが定説になっています。資料によって多少の違いはありますが、カタカナとひらがなの字源は下表のような漢字だと言われています。

表のように、たいていの文字は元字との関係がはっきりわかりますが、カタカナの一部(下表で「?」のついている文字)と、ひらがなの「へ」は元字との関係があまり明確ではありません。

カタカナが漢字の一部を取ったものだとすれば、漢字を崩してつくったひらがなよりも字源がはっきりしていてもよさそうなのに、実際にはひらがなに比べて字源がはっきりしない文字が多いのはなぜでしょうか? また、同じ音節常用文字をなぜ同時に2種類もつくり出す必要があったのでしょうか?

このあたりのことを、SFチックな夢想を交えて少々考えてみたいと思います。

暦749-757年に、吉備真備(吉備真吉備)が50音図とともに選定したと伝えられています。しかしこれはあくまでも伝承で、実際には当時の多くの学者が協力して選定したと思われる。そして「片仮名」という呼び名は、漢字の一部を取ってつくったため、「片方だけの仮名(仮の文字あるいは借りた文字)」からきているとされています。

カタカナは漢文を訓読するための補助文字としてつくられた文字で、原則として漢字と一緒に使用され、カタカナだけで文章が書かれることはありませんでした。そして、当時の日本では漢文を公式記録用の文字体系として用いて

● 歴史に思いを馳せる

カタカナは平安時代初期の天平勝宝年間(西

尔 [?]	和 [?]	良 [?]	也	万	八	奈	多	散 [?]	加	阿
无	ワ	ラ	ヤ	末 [?]	波	ハ	タ	左	カ	ア
	井	利		三	比	二	千	之 [?]	幾 [?]	伊
	キ	リ		ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ
		流	由 [?]	牟	不	奴	川	須 [?]	久	宇
		ル	ユ	ム	フ	又	爪	ツ	ク	ウ
慧 [?]	礼		女	部	祢	天	世	介 [?]	江	
恵	レ		メ	辺	禰	テ	セ	希	エ	
	乎	呂	與	毛	保	乃	止	曾	己	於
	ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ

▲カタカナの字源

无	和	良	也	末	波	奈	太	左	加	安
え	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	爲	利		美	比	仁	知	之	幾	以
	ぬ	り		み	ひ	に	ち	し	き	じ
		留	由	武	不	奴	川	寸	久	宇
		石	申	む	ふ	ぬ	心	す	久	宇
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
恵	礼		女	部	祢	天	世	計	衣	
急	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
	遠	呂	予	毛	保	乃	止	曾	己	於
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

▲ひらがなの字源

いましたから、カタカナも公式補助文字として位置づけられ、主として公式の文章や学問的な堅い内容の文章に用いられました。

現在でも法律などのお堅い文章には漢文調の漢字+カタカナ文が用いられていますが、これは漢文とカタカナが公式文字体系だった名残です(これについては、最近、ようやく改善の動きが見られます)。

カタカナは非常に安定した文字で、最初はさまざまな字体がありましたが、平安時代中期には既に現行に近いものに整備され、以後はほとんど変化していません。漢字のような表意+表音文字から表音専門の常用文字がつけられ、それが定着するまでには、通常、千年単位の時間が必要ですから、このカタカナの安定性は驚異的です。たとえば韓国のハングル文字は、公式に制定されたのは1446年ですが(実際にはそれ以前からつけられていました)、民衆の間に定着したのは第二次世界大戦後(1945年以後)ですから、500年以上の年月がかかっています。

ちなみに50音図は、日本語の音韻構造を明確にするために、漢字の反切表(漢字の音韻を研究するための表)や、悉曇しつたん学(梵語つまりサンスクリット語を研究する学問)の音韻表を参考にして、カタカナの選定とほぼ同時につくられたものと思われます。この50音図とカタカナをつくる段階で、音韻の研究から濁音と半濁音を「ん」と「っ」で表す、日本独特の表記法が発明されたのではないのでしょうか。したがって50音図はカタカナで書くのが本来で、「いろは歌」はひらがなで書くのが本来でした。



●「ひらがな」の誕生

ひらがなは、カタカナ選定の少し後に、弘法大師が万葉仮名の草書体からつくり、同時にその普及のために「いろは歌」もつくったとされています。しかしこれも伝承にすぎず、実際には色々な人々の手によってつくられたと思われます。

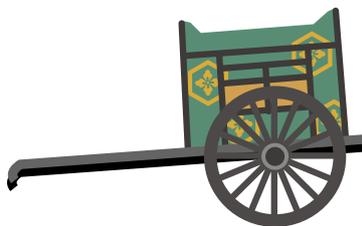
奈良時代後期から平安時代初期にかけて、和歌などの非公式な文章には、万葉仮名を草書体にした「草(そう)」という万葉仮名が用いられることが多くなります。そして草をさらに簡略にしたものを「女手(おんなで)」と呼び、主として宮中の女官達によってつくられ、女性の間で用いられていました。これが後の「ひらがな」です。

いろは歌

いろはにほへど ちりぬるを
わがよたれぞ つねならむ
うゐのおくやま けふこえて
あさきゆめし ゑひもせず

ひらがなは万葉仮名の代わりの文字ですから、最初の頃はひらがなだけで用いられていました。やがてその書きやすさから男性の間にも普及するようになり、カタカナと同じように、漢字と一緒に用いられるようにもなります。そして「平易な、あるいは非公式な平素の仮名」という意味から、「片仮名」に対して「平仮名」と呼ばれるようになったとされています。

「をとこもすなる日記といふものを、をんなもしてみむとてするなり」と、紀貫之が女性を装って書いた「土佐日記」は、日本初のひらがなで書いた日記文学として有名です。



このようにひらがなは自然発生的な要素が強いため、字体が安定するまでに長い年月がかかっています。また万葉仮名はひとつの音節に対して何種類もの漢字が用いられていたから、ひらがなもひとつの音節に対して何種類もの文字がありました。そしてそれらが最終的に現行のものに固定されたのは、何と1900年(明治33年)の明治政府による小学校令施行規則によるもので、これを「欽定平仮名」と言います(カタカナに一番よく似た字体の文字が採用されたようです)。

この欽定平仮名以外のひらがなは、「変体平仮名(変体仮名)」と呼ばれて、その後も長い間併用されていました。何しろ大正時代までは高等女学校で変体平仮名を教えていたほどですし、現在でも看板や暖簾に「うなぎ」や「そば」という文字を書く場合、変体平仮名を用いている店がたまにあります(漢字の草書体に近い文字です)。女学校で変体平仮名を教えていたのは、「ひらがなは女性が使う文字」という意識の名残でしょう。

このようにひらがなは定着するまでに千年近くの時間を要していますが、これは常用文字が定着するまでの時間としては決して長い方ではありません。ひらがなに比べてカタカナは元字との関係がより不明確であるにもかかわらず、なぜ

これほど驚異的な安定性を持っていたのでしょうか? また2種類の音節常用文字がほぼ時を同じくしてつくられ、それらが併用されていたのはなぜでしょうか? 我々が日常使っている文字体系ですから、あまり不思議に思いませんが、同じ目的の表音文字体系を2種類併用している例は、世界中でもおそらく日本語だけなのです。



●2種類の音節常用文字

これらの疑問に対するひとつの答として、「カタカナは基本的に漢字の一部を取ってつくったが、漢字以前に存在した日本の固有文字も参考にしたのではないか?」という考えがあります。もちろんこの考えは今のところ憶測の域を出ませんが、非常に魅力ある考えだと思います。

そもそもある集団に文字が発生する条件としては、次のようなものがあるとされています。

- ・小共同体がいくつか分立していること。
- ・それらをまとめてカバーする、より大きな共同体が存在していること。

日本の弥生時代(紀元前300年～紀元後300年頃)は、この条件をある程度満たしていますから、原始的な絵文字程度のもので存在していても決して不思議ではありません。事実、弥生時代から古墳時代にかけての色々な遺跡から、絵文字らしきものがいくつも発掘されています。特に歴史の教科書でおなじみの銅鐸の絵は有名で、これまでも何人かの研究者が、これらを絵文字の一種と考えて解読しようと試みています。

世界各地の古代絵文字とこれらの絵を比べると、たしかに類似性があり、絵文字である可能性は十分あるように思われます。もしこれが絵文字だとすると、他の古代文明の初期の絵文字がそうであったように、これらの絵文字は主として権力者や神官などが、政治的および宗教的な目的で使用した可能性が高いはずで、そしてこれらの絵文字は一部の権力者や神官によって伝えられて、飛鳥・奈良時代には原始的な線文字段階にまで発達していたのではないのでしょうか。

今回は、「文字と歴史の関わり合い」について、より深く探ってまいります。ご期待ください。



4月20日に受付が始まった平成29年度補正予算「IT導入補助金」の申請は一次、二次公募を終え、最終の三次公募は期間が延長されたものの、いよいよ12月18日(火)に申請が締め切られます。師走の慌ただしい時期ではありますが、ぜひともこの最後のチャンスを活用し、2019年に生産性向上を実現するための準備としてモリサワ製品をご導入ください。

◆お薦めポイント

ポイント1:導入後の効果報告は1回のみ

通常このような補助金では、設備導入後5年間にわたり、5回の効果報告が義務付けられていましたが、今回の「IT導入補助金」に関しては、報告は1度だけに緩和されました。それも三次公募での採択の場合には2020年4月以降の報告となります。よって、ITツールを導入し、1年余りかけてしっかりとその効果を示していただくことができます。

ポイント2:モリサワ製品の採択率は100%

春から半年以上にわたって続けて参りましたモリサワからの申請については、一次、二次、そして三次についても今日現在まですべての申請が受理(採択)されています。

短期間での申請となりますが、しっかりとサポートさせていただきます。ぜひこの機会に今年最後のチャンスを掴み取ってください。

カテゴリー	ITツール名	区分	製品価格(税抜)
MC-Smart (永続)	ソフトウェア	MDS-Smart 3	永続 1,800,000
		MC-Smart 3	永続 1,200,000
	オプション	MC-Smart DBカタログオプション	永続 450,000
		MC-Smart 数式オプション	永続 250,000
	保守契約	MDS-Smart 保守契約 1年	年契 120,000
		MC-Smart 保守契約 1年	年契 100,000
		MC-Smart DBカタログオプション 保守契約 1年	年契 10,000
MC-Smart (年契)	ソフトウェア	MDS-Smart 年契約	年契 450,000
		MC-Smart 年契約	年契 300,000
	オプション	MC-Smart DBカタログオプション(年契約)	年契 110,000
MC-Smart 数式オプション(年契約)		年契 60,000	
MVP(永続)	ソフトウェア	MVP Professional Edition Ver.7	永続 900,000
		MVP Standard Edition Ver.7	永続 350,000
	保守契約	MVP Professional Edition 保守契約 1年	年契 90,000
		MVP Standard Edition 保守契約 1年	年契 40,000
MVP(年契)	ソフトウェア	MVP Professional Edition Ver.7	年契 200,000
MCCatalog+	ソフトウェア	MCCatalog+ Premium Plan	年契 450,000
その他	オプション	ot-glyph	永続 48,000
	役務(導入研修)	講習費(1~5日)	講習 50,000~250,000

永フォント あ・ら・か・と

シトリン Citrine

▶ 今月のあ・ら・か・とでは、あたたかみのあるデザインがホリデーシーズンにぴったりの欧文書体「Citrine」をご紹介します。

「Citrine」は、20世紀初頭の活字から影響を受けたサンセリフ書体です。

明るく幾何学的な要素を取り入れつつも、レトロで優しい風合いをもつヒューマニストサンセリフを目指してデザインされました。

A1ゴシックとの和欧併記を目的につくられ、線画の交差部分の墨だまり表現やエレメントの端々にわずかな角丸処理を加えるなど、共通のエレメントを採用しています。

柔らかい印象と読みやすさを備えた「Citrine」は、ポスターや書籍、カードなどの見出しから本文まで幅広いシーンで使用でき、多くの人に親しみを感じていただける書体です。寒さが厳しくなるこの季節、フォントで温もりを演出してみたいかがでしょうか。



Ag5!&	Ag5!&	Ag5!&	Ag5!&
Ag5!&	Ag5!&	Ag5!&	Ag5!&

「Citrine」は、『MORISAWA PASSPORT』をご契約のお客様はいつでもインストールしてご利用いただけます。『MORISAWA Font SelectPack PLUS』でもご利用いただけます。



お悩み「なぜスーツを着なければいけないのか？」

ペンネーム：ジェントルマン

私はスーツが嫌いです。ジャケットは肩が重いし、スラックスも動きにくい。あんなもの、仕事でパフォーマンスを発揮するにはふさわしい服装とは言えないと思います。なぜ人類はこんなものを着るなんて滑稽な進化を遂げてしまったのでしょうか？ 服装なんて仕事の能力とは関係ないでしょう。スーツを着なければおかしいという社会の風潮も、街やファッション誌で目にするスーツの広告も、もううんざりです。

スーツは19世紀にはだいたい今の形が出来上がっていたそうよ。当時の働き方は現代とはぜんぜん違うから、あなたが「ふさわしくない」と違和感を感じるのももっともよ。

長年型が変わらないのは、きっと人類における「男性を感じよく見せる服」の普遍的なファイナルアンサーだからよ。100年以上前にその答えが発見されて以来、男性は他の服装に後戻りが許されず、スーツを着るしかない。女性の方が服装の許容度が高いのは、まだ男性のスーツのようなファイナルアンサーが発見されていないからだとは私は睨んでいるわ。

たしかに服装と能力は関係ないけれど、現代社会で大衆の支持を得やすいのはわかりやすいもの。その点スーツはみんなが着ていてわかりやすいから、相手の信用を得るのにつけて。どんなルックスの人もそれなりに善人に演出してくれるわ。あら、あなたが悪人面って言っているんじゃないからね。



私は前職のDTPオペレータ時代に、服装は自由だったけど成果物は見た目で判断されたわ。たとえば「**間抜け引用符**」(図①参照)。本の内容がどんなによくて、うっかりやってしまうとそれだけで間抜け扱いをされるタブーよ。だからInDesignには、引用符を自動で変換してくれる機能がついているわ。「**環境設定**」-「**欧文辞書**」で引用符の形を設定(図②参照)しておくと、**次回以降InDesignに間抜け引用符入りのテキストが入力されたときに、自動で設定した形の引用符に変換される**(図③参照)から、もう間抜け扱いされないわ!

この機能は知ってたら便利なんだけど、あまり知られてないみたいなの。あなたのスーツ嫌いは無関心の域まで来てるみたいだけど、もし長らくスーツを買うことから遠ざかっているのなら、お店でいろいろ試着してみても？ あなたが知らないだけで、最近の機能性スーツの進化は、あなたの着心地に関する悩みをやわらげてくれるかもしれないわ。

	Mac	Win
“	Option+[Alt+0147
”	Shift+Option+[Alt+0148
‘	Option+]	Alt+0145
’	Shift+Option+]	Alt+0146

1 ふみ子's ポイント
キーボードからそのまま引用符やアポストロフィーを打つと、まっすぐな引用符が入力されるわ。これが「**間抜け引用符**」。望ましい形の引用符を入力するには、ショートカットを使うなどプラスαの操作が必要だから曲者よね。

2 ふみ子's ポイント
「**環境設定**」-「**欧文辞書**」-「**二重引用符**」[引用符]の設定を変えることで、それ以降入力されたテキストは、指定した形の引用符に変換されるわ。作業の途中で変更しても、すでに入力されたテキスト内の引用符の形は変わらないので、作業のはじめに設定してね。

正しくは Rock'n'roll

正しくは '90s

3 ふみ子's ポイント
InDesignが引用符のはじめと終わりを機械的に判断して形を変えるから、テキストにアポストロフィーがある場合はあとで微修正が必要になるの。注意してね。

イベント情報

page2019

会期：2019年2月6日(水)～8日(金) 10:00-17:00 会場：東京・池袋 サンシャインシティコンベンションセンター
テーマ：デジタル×紙×マーケティング 主催：公益社団法人日本印刷技術協会

編集後記

師走を迎え、寒さも冬らしくなってきました。今年1年を振り返り「IT導入補助金」で春・夏・秋と慌ただしく過ぎたような気がします。年末28日が最終採択結果通知なのでまだまだ継続中ですが、そして本業では夏のIGAS。夏前には事例の取材で各地を訪れて、モリサワ製品をご活用のみならず笑顔と熱意に触れ、改めて私どもの仕事の役目を感じました。まだまだ情報産業はこれからの伸びしろを感じています。2019年もバワフルに進みたいものです。

✉ E-Mail: m-news@morisawa.co.jp

発行：株式会社モリサワ 企画・編集：プリンティング事業部 営業企画部
※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ www.morisawa.co.jp

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-6-25 Tel:06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-27 Tel:03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺 1-3-8 Tel:022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-5-10 Tel:052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西 2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-3-25 Tel:092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町 11-3 下田ビル2F Tel:099-252-2255